受講生として見た アメリカのビジネススクールの教授法

2003年5月16日

コロンビア大学経営大学院卒業(MBA2001) 佐藤智恵 自己紹介

佐藤智恵(さとうちえ)

1992年 東京大学教養学部(国際関係論)卒業

1992年 NHK入局:ディレクター

- 報道局:NHKスペシャル、ニュース番組の制作
- 衛星放送局:音楽番組の制作

2000年 NHK退職

2000年 米コロンビア大学経営大学院入学

2001年 米コロンビア大学経営大学院卒業(MBA取得)

2001年 株式会社 ボストン・コンサルティング・グループ入社:経営コンサルタント

● 通信、エンターテインメント企業を主に担当

内容

1. コロンビアビジネススクールの概要

2. ビジネススクールのカリキュラム

3. 教授法の特徴

4. 日本の大学との相違点

● 評価の厳しさ

5. 理想的な教授法とは

内容

1. コロンビアビジネススクールの概要

- 2. ビジネススクールのカリキュラム
- 3. 教授法の特徴
- 4. 日本の大学との相違点
 - 評価の厳しさ
- 5. 理想的な教授法とは

コロンビアビジネススクールの概要

ビジネスウィーク誌 全米ビジネススクール・トップ10ランキング(2002年)

Ranking	Business School	
1	Northwestern(Kellogg)	
2	Chicago	
3	Harvard	
4	Stanford	
5	Pennsylvania(Wharton)	
6	MIT(Sloan)	
7	Columbia	
8	Michigan	
9	Duke(Fugua)	
10	Dartmouth(Tuck)	

コロンビアはトップ10の常連

コロンビアビジネススクールの概要

2002年入学生のプロフィール

● 学生数: 1学年 700人

=500人(9月入学)+200人(1月入学)

全校 1400人

年齢: 22歳~42歳(平均年齢27歳)

● 留学生: 28%● 女性: 35%● マイノリティー: 20%

● 入学前の職業: 金融、経営コンサルタント、起業家、

弁護士、映画監督、バレエダンサー、

政府官僚他

● 学生の雰囲気: リベラル・比較的協調的

ビジネススクールが最も重視する価値観=DIVERSITY=多様性 を反映した学生構成

- 6

コロンビアビジネススクールの概要

必要経費

	年間費用(\$)	年間費用(万円)
授業料	\$34,000	¥400
運営費	\$400	¥5
健康保健料	\$1,500	¥20
生活費	\$25,000	¥300
合計	\$60,900	¥725
合計(2年間)	\$122,000	¥1,450

授業料だけで、2年間で800万円 ● 1コマ 約2万円の計算

コロンビアビジネススクールの概要

全米でトップクラスの教授陣

● 教授の数: フルタイム 127人

Adjunct Faculty 100人程度

バックグラウンド:

元CEOなど会社役員

現役の投資銀行家・経営コンサルタント・会社役員

● 特徴: ニューヨークという場所柄、ウォール街等から教えにきて いる現役ビジネスパーソンが多い

アメリカ以外の国での勤務経験が豊富 シビアな学生に鍛えられている

教授陣には、"学生の多彩なニーズに応え、多彩さを生かした 授業を行う"ことが、特に求められている

内容

1. コロンビアビジネススクールの概要

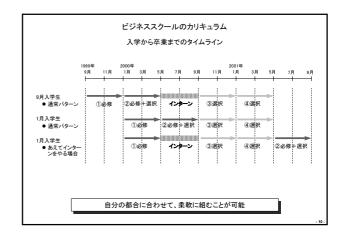
2. ビジネススクールのカリキュラム

3. 教授法の特徴

4. 日本の大学との相違点

評価の厳しさ

5. 日本の大学への提言



ビジネススクールのカリキュラム 1学期目(5教科)のスケジュール

8:30-10:00 REVIEW Managerial Economics 10:00 B6006 Managerial Economics 207W 11:20 Accounting 142U REVIEW 11:40-13:00 REVIEW Managerial Statistics 142U 13:20 14:40 B6601 Marketing 309W B6014 Managerial Stastics 330U REVIEW Corporate Finance 142U B6014 Managerial Stastics 330U 15:00 16:20 Marketing 309W B6301 Corporate Finance 16:40 18:00 311W

空いているコマは補講か宿題時間

内容

1. コロンビアビジネススクールの概要

2. ビジネススクールのカリキュラム

3. 教授法の特徴

4. 日本の大学との相違点

評価のしくみ

5. 理想的な教授法とは

コロンビアビジネススクールでの教授法

5つの特徴

- 1. 膨大な予習量・課題量
- 2. インタラクティブな授業
- 3. 教授の裁量が大きい
- 4. 落ちこぼれをつくらないシステム
- 5. 多彩で分かりやすい教材

1. 膨大な予習量・課題量

「真のプリンスを探して」(ジョン・ホイットニー教授)の1回の授業に必要な予習と課題

「ハムレット」 4時間半

脚本を読む

ビデオを観る

「ハムレット」(原文)

1時間 ● 「ハムレット」(日本語) 5時間

新聞記事を読む

ベルナベについての記事 1時間

ケースブックを読む

ハムレットの箇所 1時間

先生の著書の該当箇所 1時間

レポートを書く ● "ハムレットとベルナベ(イタリアの有名 なCEO)を比較し、それぞれ長所と短所を述べよ。特にリーダーシップと決断のしかたにフォーカスして述べること。" (500語以内) 4時間

2. インタラクティブな授業



扇形の教室と テントカード

看板教授 ビッガダイク教授は 名ファシリテーター



3. 教授の裁量が大きい

看板教授の学生評価方法

	レズニコフ教授 "ターンアラウンド"	ドナルドソン教授 " <u>キャピタルマーケット</u> "	イチノフスキー教授 "交渉術"
Class Participation	40%	0%	15%
Written Assignment	30%	10%	20%
Midterm		55%	30%
Final	30%	35%	35%

出所: コロンビアビジネススクールHP

3. 教授の裁量が大きい 1学期(必修科目)の試験方法

Course	Date	Start Time	Duration	Open book?
Accounting	Mon. April 24	2:00 PM	3 hours	No (cheat sheet only)
Marketing	Tues, April 25	2:00 PM	4 hours	Yes
Finance	Fri. Apr. 28	9:00 AM	6 hours	Yes
Stats	Mon. May 1	2:00 PM	4 hours	No (cheat sheet only)
Economics	Take home		24 hours	Yes

"大学の教室でも、自宅でも、試験結果は同じ。試験監督するのが面倒くさいので、持ちかえりにします。"

(ミクロ経済学教授)

4. 落ちこぼれをつくらないシステム

- 入学前のエクセル講座、数学講座
- Review Session (補講)
- オフィスアワーの積極的な開放
- TA(Teaching Assistant)、チューター制度
- 適度なグループ課題
- 英語力で評価しない
- 教授からの"発言促しメール"

やる気はあるが、授業について来られない人を、 徹底して助けるシステム

- 5. 多彩で分かりやすい教材
- 講義内容・補足プリント
- ケースブック
 - 各教授オリジナル
- 生ゲスト
- コンピューターソフト
- クラスでのディスカッション

参考書はどの授業でもほとんど使用せず、先生オリジナルのケース ブックや副読本を主に使用

5. 多彩で分かりやすい教材

ディスカッションと生ゲストを中心にした人気授業「Retailing」の例

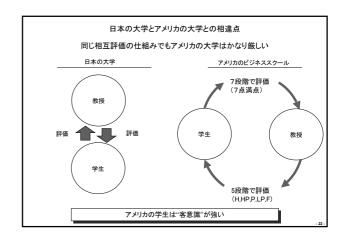


	授業の前半:ディスカッション	授業の後半:生ゲスト SPEAKERS			
DATE	CASES				
		NAME	TITLE	COMPANY	
09/06/00	Tweeters	James Donald	President & CEO	Pathmarkt Supermarkets	
09/13/00	Netgrocer.com	Stephen Kahn	President & CEO	Delia & Iturf.com	
09/20/00	Compusa	John Eyler	President & CEO	Toys R Us	
09/27/00	Amazon.com	Kenny Kurtzman	CEO	Ashford.com	
10/04/00	(Lecture)	Grace Nichols	President	Victoria's secret	
10/11/00	Dayton Hudson	Michael Jeffries	Chairman & CEO	Abercrombie & Fitch	
10/25/00	Salvatore Ferragamo	Martha Stewart	CEO	Martha Stewart Living	
11/01/00	Staples	Lance Isham	C00	Polo Ralph Lauren	
11/08/00	Bluefly.com	Ken Seiff	CEO	Bluefly.com	
11/15/00	Nordstroms	Leonard Roberts	Chairman & CEO	Radio Shack	
11/29/00	Talbots	Howard Lester	Chairman	William Sonoma	
12/06/00	Walmart	Arnold Zetcher	Chairman & CEO	Talbots	

アラン・ケイン教授は、自らのネットワークで毎週豪華ゲストを招聘。 ゲストは全員手弁当で参加。

内容

- 1. コロンビアビジネススクールの概要
- 2. ビジネススクールのカリキュラム
- 3. 教授法の特徴
- 4. 日本の大学との相違点
 - 評価の厳しさ
- 5. 理想的な教授法とは



日本の大学とアメリカの大学との相違点 学生が教授を評価する14項目

この授業で学んだフレームワーク、コンセプトや思考の技術には満足か 読み物は適切だったか 課題、プロジェクト、ケースには満足か 予習量は適切だったか この授業への総合的な満足度 教授は教材を効果的に使いこなしたか 教授は近づきやすかったか、課外に十分な時間をとってくれたか 教授は効果的にフィードバックしてくれたか 10 授業のロジスティックスや進め方には満足か 教授は熱意を持って授業を行ったか 教授への総合的な満足度 13 Teaching Assistant(TA) への満足度 14 自分は生徒としてどれだけ熱意を持ってとりくんだか

7点満点であまりに点数が低いと、先生はクビ

日本の大学とアメリカの大学との相違点 教授の経済性がはっきり分かる

集客数 • 300人 ● 授業料 \$3400=40万円/人

A教授

半年で

● 1億2000万円の売上 - 300人×40万円

B教授 集客数 ● 5人 ● 授業料 \$3400=40万円/人 半年で ● 0円の売上 - 講座閉鎖のため

大学への売上の貢献度で、教授の給料も決まる

日本の大学とアメリカの大学との相違点 教授の日々の努力

- 教材の工夫
- 学生を飽きさせない授業構成
- 授業内容の改善・改善・改善
- プレゼンテーションの特訓
- 学生との密なコミュニケーション
- 自ら補講

教授の熱意が学生に伝わる

内容

- 1. コロンビアビジネススクールの概要
- 2. ビジネススクールのカリキュラム
- 3. 教授法の特徴
- 4. 日本の大学との相違点
 - 評価のしくみ

5. 理想的な教授法とは

理想の教授法とは 私が感銘を受けた教授の共通点

- 自分なりのスタイルを持っている
- 本質で勝負
- お金を儲けている
- 学生の質問への答え方が秀逸
- 実社会との接点を大切にしている
- 教えることを楽しんでいる

日本の大学が参考にするべき点も多い